

## 「食支援フォーラム in 庄内2025」 実施要領

### 1 目的

高齢者や、疾病、障がいのある方々は、嚥下機能の低下により誤嚥性肺炎を併発することや、食事が摂れなくなる場合がある。それに伴い、口から食べることが困難となり、胃瘻造設や経鼻経管栄養を余儀なくされることも少なくない。

そのような困難な状況にあっても、「口から食べる」ことは、栄養素の摂取による栄養状態や要介護度の改善につながり、更には食べる楽しみ、味わう喜び、生きる意欲につながることから、食べることの支援は重要である。

また、食べることの支援においては、食べられない多くの要因を解決するため、医療職（医師、歯科医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、リハビリ専門職、歯科衛生士）・介護職（介護支援専門員、ヘルパー、介護福祉士等）等が協働して支援する「多職種による食支援」が必要である。

庄内地域では、この食支援団体として、南庄内地域では「南庄内・たべるを支援し隊」が、北庄内地域では「北庄内食援隊」が活動しており、それぞれの地域で食支援の輪が広がってきている。また、「鶴岡食材を使った嚥下食を考える研究会」の活動により、嚥下食提供飲食店が広がりを見せている。

そこで、在宅医療・介護に携わる多職種・多業種の交流により、お互いの活動を知り知識を深め、産官学が連携した食支援活動の強化につなげるとともに、行政職及び地域住民に対し食支援の重要性の理解を深めることを目的に、このフォーラムを開催する。

### 2 実施主体 山形県庄内保健所

### 3 対象者

在宅医療・介護に携わる関係者（医師、歯科医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、リハビリ専門職、歯科衛生士、地域包括支援センター職員、居宅介護支援事業所職員等）、県・市町村の行政職、食支援に関心がある飲食店、教育機関、地域住民等（約150人）

### 4 開催日時および会場

日時：令和7年9月6日（土）午後0時30分から午後4時30分まで（予定）

会場：東北公益文科大学 公益ホール 大ホール及び中研修室  
（山形県酒田市飯森山三丁目5番地の1）

### 5 内容

#### （1）挨拶

#### （2）講演（約60分）

演題 「食支援がつなげる地域の笑顔～いつまでも口から食べるために～」

講師 ヒューマンデンタルクリニック 歯科医師 飯田 良平 氏

#### （3）食支援の活動報告（約25分）

① 北庄内食援隊

② 南庄内・たべるを支援し隊

鶴岡食材を使った嚥下食を考える研究会

(4) 庄内地域での食支援の取組み（好事例を含めて）（約40分）

- ・ 介護支援専門員が食支援につなげた事例①
- ・ 介護支援専門員が食支援につなげた事例②
- ・ ICTを活用した食支援事例
- ・ 施設における食支援の取組み

(5) 食支援、嚥下食等の紹介、研究発表、企業等の紹介  
（別会場にパネル等の展示を予定）

(6) 情報提供

(7) 閉会

6 その他

【後援（予定）】

鶴岡地区医師会、酒田地区医師会十全堂、鶴岡地区歯科医師会、酒田地区歯科医師会、山形県看護協会、山形県薬剤師会、山形県栄養士会、山形県理学療法士会、山形県作業療法士会、山形県言語聴覚士会、山形県歯科衛生士会、山形県介護支援専門員協会、日本料理研究会庄内支部鶴岡庖栄会、日本料理研究会酒田支部、庄内DECクラブ、酒田のラーメンを考える会、鶴岡市、酒田市、三川町、庄内町、遊佐町